

ぼくたちは神戸新聞会社の人に新聞のい
 いところなどを教えてもらいました。ぼくた
 らはいろいろ考えました。新聞はうそをつか
 ないことなどを教えてもらいました。
 そしてウクライナとロシアの戦争に今はウ
 クライナに何かできるかを考えました。そし
 たら奇付ができると思いました。野菜の奇付
 にお金の奇付ができるとおもいました。なの
 でウクライナに奇付できるものはウクライナ
 に奇付します。人がこまうないように戦争
 がなくなっしてほしいです。

人の命を守るためにも戦争がなくなっ
 してほしいです。

五月十一日の六時開目に神戸新聞の方が来

ての授業をしていただいた感想を書きたいと

思います

まず、今日の授業で新聞の特長徴の網羅

性一覽性信頼性の高さについて説明して

いたただいてとても分かりやすかったです

神戸新聞の方がSNSにはたくさんの方が

あると言っていましたので私は確かにさぐく課題

になつたけどまたたつたことがたまに

あるなと思つてあらためてネットではすぐ

なんでも信じられないところと確認する

ことが大事だなと思ひました

新聞の書き方なども教えていただいたので今度書

く一泊移住の新聞を書くときは活用しよう

思います。そ本と北角先生が曲の題名をま

かえたのはととおもしろかったです

最後の授業をしていろんなことを学

ぶて今後の生活に活かすたいなと

した

あやまた情報にまじわれない私達になりまじうね
 だからこそ情報得方を知らないと
 だかあやまたたかさんの情報があつた
 だかあやまたたかさんの情報があつた

ぼくは、初めて戦争について真剣に考えました。今起こっているウクライナとロシアの戦争を、どうしたら止められるか、考えました。まずウクライナとロシアがなぜ戦争をしたか、それには昔ソ連という強い国がありました。その中にロシアとウクライナが入っています。それが崩壊してしまいソ連とはちがうNATOに入ろうとウクライナが入ろうとして、それをロシアが反対して、この戦争が起きました。

ぼくは、どうしたらとめれるか、おずかしかったです。しかしこれ以上、犠牲者が増えるのであれば、ウクライナが降参したらいいと思います。

ほくは、話をきくまえは、
はしてはならないと思、
んだん話を、かいていてほ、
てはならないと思りました。
この話でもうに
いと戦争は、おきてほしく
ロシアとウクライナの戦争
大しうり、うとフライン
しういちじ、かりいちか
と思、います。せんそ
ほうかい、いと思、いま
した。

ぼくは、あの約一時間之新聞紙についてよく知ることができました。ぼくの家は新聞をとっていないけれど、新聞のよさも色々あることが分かりました。

ウクライナとロシアの戦争は、プーチンが全部悪いので、プーチンをだれかが殺せば終わると思います。

ウクレイトとロニアのせんをうたっ
せんをうたぶるうしいとおもいました。だが
うたを早くせんをうたおわってほし
いかなどか
もいませう。

私は、この一時間、新聞記者の方に戦争のこ
 とについてや、新聞にどのように入真を配置
 したりすればよいか。どうすれば新聞をいろ
 んな人に見てもらえるか。などのことを教え
 てもらいました。最近では、ロシアとウクライ
 アの戦争がどのニュースでもよく見られま
 す。新聞もコロナのことやウクライアのこ
 がいっぱい書かれています。私は新聞をど
 のようによく見るかを、教えてもらいました。
 その分けられた部分の見出しの部分は大きな
 字でかいてあり、たいてい文章の大事な部分に線
 がひかれています。いろいろ見やすいとい
 えがけられています。のが分かりました。また、と
 ころどころにイベントの広告や4コママン
 がなど情報を得るだけでなく、読んでいて楽
 し。おもしろい。と読んでいる人が思える
 ような物もつけていたりしました。私は、こ
 の話を聞いて、一泊移住の新聞づくりやく
 立てようと思いました。

最近、ロシアとウクライナで戦争をしてい

ます。その戦争は、ロシアが一方的にこっ

きしています。戦争がおこったのは、ウクラ

イナがNATOに加入しようとしたのがき

っかけでウクライナはこうげきされてい

るのです。

しかし、ここまでやってたくなると命がう

ばいみわているのに、こっげきを続ける必用は

あるのかと僕は思います。

戦争を終わらせるために自分ができること

は、募金などをしてウクライナに武器を送っ

て支えんすることだと思いました。

ほくは、けこう前から、けいたいで戦争

が、始まる。て見た。ほんとに始まると思

も、いまこんどした。ほくは、今ウケテの

人は、働けないじょうたいだ。かり、今(いま)さん

活動をして、ロシアとウケテ戦争がおわ

った。ウケテウケテにほきんで集ま、たお金を

わたせば、いと思、う。次に、ほくが思、える

ことを話します。ウケテウケテはロシアに勝つ

のは、むかかし。ウケテウケテのちを

ロシアにあけ、れは戦争がおわるの。と思、て

います。しんぶんを見て、一和、う一和、よ、う

読んで、わあ、あ、あ、え、を見て、たい、たい、わ、わ、

ると思、いました。しんぶんを見た。かんじ、戦争

は、こん、な、かんじと思、いました。と、て、も、わ、わ、

と思、って、いました。二度と戦争もおこした。た、

ないと思、いました。

ぼくは、記者さんの話を聞いて、新聞のつ
くりがわかりました。そして、ロシアとウク
ライナの戦争について改めて考えるきっかけ
となりました。

ぼくは、戦争に反対です。

理由は、戦争をしても、何も関係のない人
が巻き込まれ、多くの命が無くなってしまっ
かうです。口で言い争えばいいのにと思いま
す。

今の新聞は主にこの戦争の話題を取っ上げ
ているのがわかりました。

二本からは積極的に新聞を読みたいと思い
ました。

ぼくは、戦争について思いました。なんでも

戦争をするのか。お互い口論で解決しないか

ら戦争になるから、お互い相手を理解しよう

としたら戦争にならないかと思いましたが。

今に起きているウクライナ戦争は、プーチ

ン大統領は自分勝手な理由で戦争を始め

たから、今も続いているかと思えます。

ほうくは、新聞をあまりみないけれど、今テレビ
 じゃ新聞は、ロシアがウクライナを攻めし
 ている戦争の話題がめづつと思えます。戦争
 っていうのもいまいぢあからないし、テレビ
 の中の事だと感じていきます。映像の中には、
 ほんより小さい子や大人の人たちがけがをし
 ていたり、にげて地下の場所では生活したりと、
 こねづねしていている姿がいんしょうに残ってい
 ます。戦争は、悲しい思ひしか残らないと思
 います。早く戦争なんて終わればいいのにと
 思いました。

私たちは、5月11日に神戸新聞の人が来ました。そこで、新聞の役割りなどを教えてくれました。

^{おま}教わったことは、新聞は、全部よまなくて、見出しでだいたいわかることをおしえてくださりました。ほかにも写真などもあれば、とわかることもおしえてくださりました。ぼくは、新聞のいいところがわかりました。それは、正しいじょうほうがまじりなっていることです。SNSだと、フェイクニュースとい、てうそのニュースがなっていて、いふことがわかりました。

もし、これから新聞をかくときには、見出しを大きくし、見出しは、一番大切なことがわかりました。5月11日におそわったことをこれからいきたいと思います。

ぼくは戦争について、ひどいもの。だと考
えました。なぜかというと、戦争は、ぎせい
というものがあからずです。ぼくは六時間目
の総合の時間で、ウクライナ対ロシアについ
て学びました。その話を聞いて、感じたこと
思ったことは、ぎせいをともなわな^い戦争は
ないし。だからぼくは戦争をやめるたの手だ
んをいくつが考えました。一つ目は、すべて
話し合いでなんとかすることです。けんか
も暗黙に話し合いをすれば、仲直りすること
ができるからです。二つ目は話し合いで解切
しないのであれば、第三者に手伝ってもら
たらよいと思います。相手の悪いところ、自
分の悪いところ両法がわかるからです。
これでぼくの学んだことについて終わら
いと思います。

ウクライナとロシアの戦いで、私達にできる事は、国の人達に言う事は、不可能です。SNSを使って発信してもとどくか？は、ほとんどもありません。私達市民ができる事は、ほ金しかできないと思います。今度ほ金ができる機会があればやろうと思いましたが、授業ありがとうございました。

こ	の	前	は	あ	り	が	と	う	ご	さ	い	ま	し	た	。	新	聞		
の	特	ち	よ	う	や	新	聞	の	信	が	い	性	な	ど	を	教	え	て	い
た	だ	き	少	し	新	聞	を	読	ん	で	升	て	令	起	き	て	い	る	
こ	と	を	し	れ	た	ら	い	い	と	思	い	ま	す	。	最	近	は	皆	い
ニ	ュ	ー	ス	な	ど	が	あ	り	ま	す	。	新	聞	で	モ	テ	う	い	う
皆	い	ニ	ュ	ー	ス	が	あ	り	ま	す	が	。	そ	れ	を	逆	に	考	え
皆	い	ニ	ュ	ー	ス	を	明	る	く	す	る	力	が	あ	れ	ば	と	思	い
ま	す	。																	
新	聞	で	世	の	中	を	変	え	れ	た	ら	い	い	で	す	。			

昨日、プロの新聞記者、三好さんが来てく
ださいました。

まず三好さんが新聞についてのことを話し
てくれたのは、なんとウクライナの戦争のこ
とでした。なぜなら、そのウクライナの戦争
の新聞をもとにして、どんな記事が一番み
すいかな、と説明をするためのものでした。

それと、この悲しく悲しい戦争をおわら
せるのには、どうしたらいいのかわか
りません。ほくは友たちと考え出さ
ない。政府に手紙をとどける、とい
う考えで、その理由は、ほくたちでは何も
できない。この政府の人たちにたのむ
ことにしたからです。

昨日は新聞についての勉強をして
くださいました。また機会があれば
新聞についての勉強、よろしくおねがい
します。

ぼくは神戸新聞の記者の方が来てくと思う
た感想は、新聞をもらってロワイヤルウクライ
ナの戦争について詳しくなつたかな
と思ひました。なぜがというし、ニュースで
やってゐることはだいたい知つてたけど、
ニュースにのつてゐないことが新聞にかりて
あつたことですよ。
他にも兵庫のことが知れました。姫路城の
内部初公開の記事やコロナの感染者数が高れ
り者施設のワクチン接種です
ぼくの家は新聞をとつてゐないので、この
順に読んだらりかなと思つたけど少し興味があ
りました。

授業を通して、ロシアとウクライナの戦争は良くないと思つた。たくさん人のけが人や銃で七くなつた人などの被害者が出るから市民にもめいわくだし日本にも影響を与えるので良くないと思つた。

戦争をみると、たくさん人の被害者かてるだけでなく日本の経済やガソリン、食品といつた最終製品のさがる値上げにつながら、国民生活に悪影響が出る。もしも日本で戦争が起きたら考えたら、家族や友人や子どもやあんな罪のない人が殺される。それを考えると戦争は可くおそろしいものだと思つた。今現在世界のどこかで戦争し多くの人が亡くなつていく。可く悲しい現実である。

いつ戦争が起きても良いように、家族や友達との生活を大切にし、これからの人生を大切に生きていきたいと思ひます。

私は、このしんぶんのことに、色々
教えてもらって、大中で、参考になつたことが2
つあります。

1つ目は、これからしんぶんを升たとき、
どこにどんなことにのつているのかの升かた
が分かるようになったことです。

2つ目は、しんぶんをかかないといけない
ときに、どんなふうにかければ人に升てもら
かなど、しんぶんをかくときに大切なことも
知りました。

これから少しでも、しんぶんをよんで升よ
うとき、よう升をもちました。

感想

現在、ロシアとウクライナで戦争が行われ
 ている中、日本の経済へのえいさよの事を
 知っています。戦争がきづいになった。戦争
 は、関係のない国や人にもえいさよがある
 ので、一秒でも早く戦争が終る事を願って
 います。
 戦争が終るために
 ぼくが戦争のためにできる事は、戦争に参
 加することかできなくてもウクライナからに
 げて来た人たちを助けることはできると思
 います。なので少しでも金をしたり、食料を
 分けて上げると少しの命でも助けられると
 思うので、いろんな人にも少しでも命を救
 う取り組みをしてほしいと思います。

私は新聞について学んだことが二つあり
 ます。一つ目は、新聞は、色々な情報か書かれて
 いるから、いっどこで何かあったのかを世界
 中の人が知ることかできません。声か聞こえな
 い人には、とても便利なのではないかと私は
 思います。二つ目は、新聞は、世界を交えれるんじや
 ないのかなと思います。新聞は、いっつも、
 世界中で作られ、読まれています。というこ
 とは、つまり、新聞は、世界の人によびかけ
 かできるということなるのです。たしかに、世
 界中の人口全員かかならずみるものはかぎりま
 せん。けれども、それとははんだいに、新聞を
 読んたない人は、世界中の人々全員では、あ
 りません。新聞を、読んたないいちづの人に新
 聞者の思いは、伝わります。だから、その記
 事が色んな人に、広がれば、思いは、もつと
 広く伝わって、いくと思ひます。だから、新聞
 は、世界を交えるかぎとなるのです。

新聞について勉強をしたとき、思ったこと
や感想は、このたったの一言願ねがいだけでした
戦争はこわくて悲しいこと。そんな戦争は
もうにどしどしたくないな。たそれだけ。

新聞のお勉強おもしろか、た下す。